

# 兵庫県立農業大学校 有機農業アカデミー(仮称)構想の概要



## 有機農業アカデミーの設置目的・育成目標等

### ● 基本項目

名 称：県立農業大学校有機農業アカデミー〔短期養成課程 有機農業専攻〕

設置場所：県立農林水産技術総合センター内（加西市別府町）

開講時期：令和8年(2026年)4月

教育期間：1年間

定 員：10名

<教育期間の考え方>

対象とする学生は、有機農業経営を志す、主に社会人経験を有する者を想定しており、短期間での人材育成を図るため、1年間の教育課程とする。

### ● 設置目的

有機農業の取組を拡大するため、「経営として成り立つ有機農業」\*を実践する担い手や地域のリーダーとなり得る人材を育成する。そのため、農業の担い手を育成する教育機関である県立農業大学校に有機農業を体系的に学ぶコース（以下「有機農業アカデミー」という。）を新設

〔\*有機農産物の市場での優位性に着目し、経営の一手法として取り入れ、再生産可能な所得を確保する。〕

## 有機農業アカデミーの設置目的・育成目標等

### ● 有機農業アカデミー生の育成目標

本県有機農業のより一層の取組拡大を推進するため、経営として成り立つ有機農業を実践する担い手を育成することを目標とする。

#### 【教育方針（案）】

- 県下の多様な条件下での就農や周年生産による経営安定化に対応するため、幅広い作物の有機農業栽培に必要な基本技術・知識を習得させる教育
- 出口戦略にも長けた人材を育成するため、流通やマーケティング、経営管理など経営感覚を磨く教育
- 卒業後の就農を円滑にするため、県内先進農家等と連携した教育

#### 【アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）（案）】

育成目標に掲げた人材を育成するため、次のような学生を求める。

- (1) 農業の生産技術や経営を学ぶ上で必要な基礎的学力と知識を身につけている人
- (2) 有機農業に関心を持ち、自らが実習ほ場を管理できる基礎的な農業技術や知識を有している人
- (3) 地域の農業者と連携して技術向上を図るなどの協調性や熱意を持つ人
- (4) 身につけた技術や知識を活かして、有機農業を実践する担い手や指導者等として本県農業の発展に貢献しようとする意欲がある人

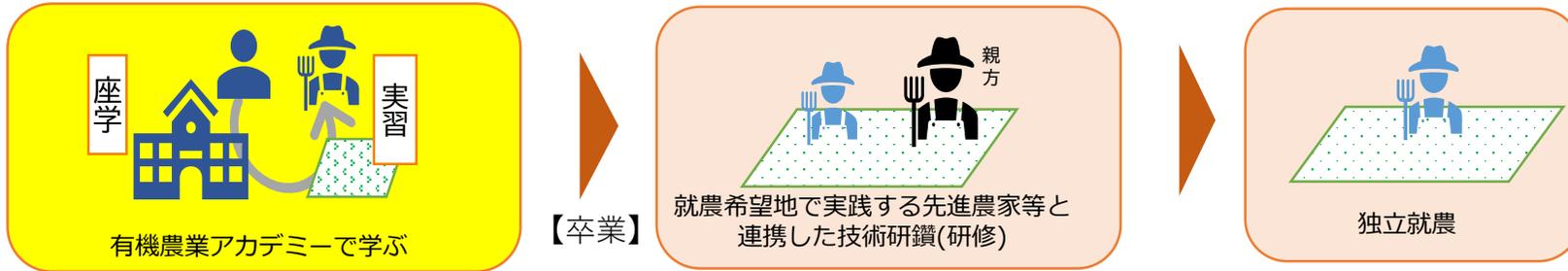
# 有機農業アカデミーの設置目的・育成目標等

## ● 教育方法

### 【有機農業アカデミーの特色】

- ・ 学生の個別管理による実践的な栽培技術の習得（環境制御温室の活用を含む）
- ・ 学生個々の就農計画等に応じたオーダーメイド型の実習を実施
- ・ 生産から流通・販売まで有機農業を体系的に学ぶ講義

【育成イメージ】



### 想定カリキュラム

総授業時間	うち実習	うち講義
1,576時間	1,110時間 (70%)	466時間 (30%)
	うち 先進農家への派遣 110時間 場内実習 1,000時間 露地200m <sup>2</sup> ハウス250m <sup>2</sup>	うち アカデミーオリジナル科目 136時間 (有機農業の基本論、流通・マーケティング、経営管理、 有機農業先進事例講義、地域農業校外学習) 植物生理など農大との共通科目 330時間

※他県事例（実習と講義の割合）：島根県 6:4（2年教育）  
 埼玉県 7:3（1年教育）

### 【実習のねらい】

- ・ 安定的な所得確保のため、多様な品目・作型で周年生産ができるよう、露地・ビニールハウスにおける実習を通して、実践的な栽培技術の習得や、栽培上の課題等の把握・理解を促す
- ・ 収穫や出荷調製も原則として個々が行い、農作物の一連の生産活動を体験することで実践技術を習得
- ・ 肥料や電気などの経費や、販売高などは、学生ごとに算出し、個別に評価することで経営感覚を養う

## 整備計画

### ● 整備場所

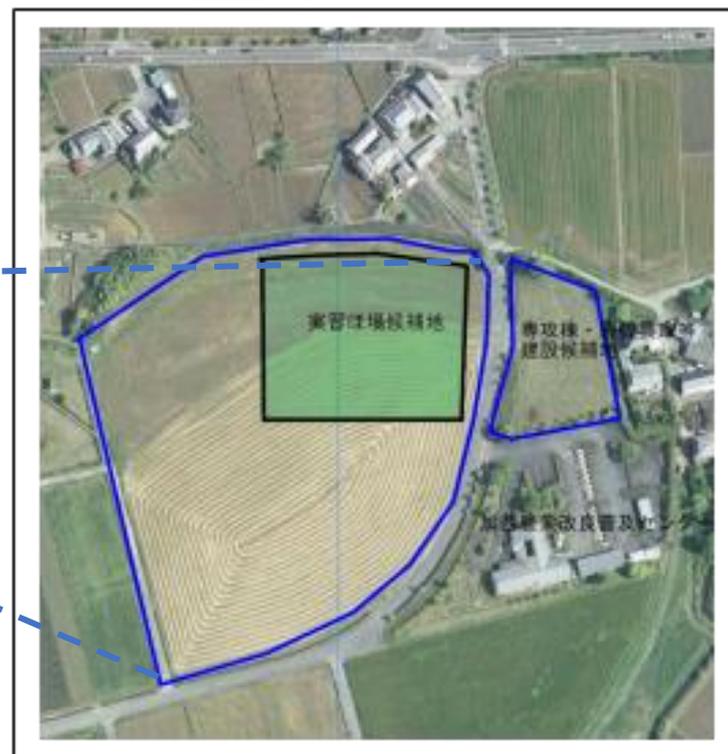
#### (1) 場所

設置場所：加西市別府町〔県立農林水産技術総合センター内〕

#### (2) 施設等敷地

実習ほ場候補地：約8,000m<sup>2</sup>（加西農業改良普及センターの北西側）

教育棟・農機格納庫兼作業場候補地：約3,000m<sup>2</sup>（〃 北側）



※圖土地理院地図を用いて作成

## 整備計画

### ● 整備概要

#### 1 教育施設

施設名		概要
教育棟	講義室	講義や会議を行う
	講師控室	講師が授業準備や休憩を行う
	出荷調整室	収穫した農産物の重量や大きさ等の計測や出荷するための袋詰め等の作業を行う
	更衣室	個人ロッカーで荷物の保管、作業着等への着替えを行う
	トイレ	学生や講師等が利用
農機格納庫兼作業場	農機格納庫	トラクター等農業用機械を格納
	作業場	有機質肥料の混合、小農具の保管、機械器具のメンテナンス等を行う
土づくり資材保管庫		有機農業の基本となる土づくりに必要な堆肥を製造・貯蔵を行う

#### 2 実習施設

施設名	概要
露地	1 区画 200㎡程度×10区画 各区画には、排水を良くするための暗渠排水を敷設
ビニールハウス	1 棟250㎡程度×10棟 温度、湿度、CO2をモニタリングする環境制御システム導入



# 整備計画

## ● 整備施設配置 (イメージ図)

平面図 (拡大)

